

カザフ草原北辺部における長距離交易と家畜の取引

塩谷哲史（筑波大学人文社会系）

本報告は、18-20世紀初頭ロシアと中央アジアを結ぶ隊商交易の拠点であり、かつ穀物と畜産物の取引拠点であった都市オレンブルグを考察の対象に据えながら、同都市とその周辺にあたるカザフ草原北辺部における長距離交易と畜産物取引との関係性を論じる。具体的には、19世紀中葉に書かれたロシア語の通商概説をもとに、隊商の規模、担い手、取引品目・金額、取引方法、その中の畜産物取引の役割について考察する。

現在のカザフ草原北辺部に位置し、1730年代当時のロシア帝国南境のウラル河岸に建設されたオレンブルグは、その後ロシアと中央アジア南部諸都市（ブハラ、ヒヴァなど）を結ぶ隊商交易の拠点となった。そしてその後、20世紀初頭に鉄道が開通するまで、ロシア=中央アジア南部間の長距離交易最大の拠点として機能したとされる。オレンブルグは大別して、ウラル河北岸の要塞都市と、南岸の交易場 menovoi dvor からなり、中央アジア南部諸都市から到來した隊商は、交易場で荷を解き、そこでオレンブルグのロシア商人、ムスリム商人と取引をしていた。この交易についてソ連期に Rozhkova (1949)、Rozhkova (1963)、Mikhaleva (1982)などの研究が現れたが、これらの研究は交易のあり方を単純にとらえがちである。まず、現在のカザフ草原で遊牧生活を送っていたカザフ諸集団も、この交易場において、家畜と穀物の交換を主体とする取引を行っていた。そのため、交易場での取引の実態を解明するためには、隊商とカザフ遊牧民との関係を明らかにする必要があるが、それはいまだになされていない。また隊商が実際にはカザフ遊牧民の冬営地、夏営地に立ち寄り、商品を交換しながら、3か月程度の期間をかけて中央アジア諸都市に到達していた。これらの事実を踏まえると、オレンブルグのみでの取引に注目するだけでは、ロシア=中央アジア南部間の長距離交易の実態を明らかにすることはできない。さらに最近 Eden (2018) は、中央アジア南部とイランとの間で取引されていた「奴隸」（実態としてはおもにイラン系シーア派定住民の捕虜）が、ブハラやヒヴァの市場を介してカザフ草原へと転売されていた事実を解明した。それゆえ、ロシア=中央アジア南部間の長距離交易におけるこうした「奴隸」取引の占めた位置も解明する必要がある。

本報告では、ロシア=中央アジア南部間の取引空間をオレンブルグからカザフ草原に広げ、カザフが行う家畜と穀物の交換と、絹・綿織物商品や乾燥果物を中心とした長距離交易と家畜の取引について考察する。

体とする長距離交易との関係性、またそうした取引に占めた「奴隸」取引の意味について考察したい。考察のための主要な歴史史料は、1850年代に書かれたロシアと中央アジア南部諸都市との交易概説 (Nebol'sin 1855) である。それに加え、カザフ草原を通過した旅行者、使節の記録、カザフスタン共和国中央国立文書館所蔵文書 (Fond 4, Orenburgskaia pogranichnaia komissia) を用いる。とりわけ最後の文書群は、カザフ草原から逃亡してきた元「奴隸」の証言や、1836年からロシア当局によって「奴隸」取引廃止を口実に拘留されていた中央アジア南部出身商人の証言や、そのときに所持していた家畜や商品に関する詳細な一覧があり、当時の交易の実態を知る上で重要な情報を提供する。

これらの情報をもとに、19世紀において隊商の長距離交易と遊牧民の都市における穀物と家畜・畜産物の交換が不可分であり、比較的大規模な人の移動も取引と連動して引き起こされていた実態を明らかにできると考えられる。

参考文献

- Eden, J. 2018. *Slavery and Empire in Central Asia*, Cambridge: Cambridge University Press, 2018.
- Mikhaleva, G. A. 1982. *Torgovye i posol'skie sviazi Rossii so Sredneaziatskimi khanstvami cherez Orenburg (vtoraia polovina XVIII-pervaya polovina XIX v.)*, Tashkent: Fan.
- [Nebol'sin, P. P.] 1855. "Ocherki torgovli Rossii s Srednei Azii," *Zapiski Imperatorskogo Russkogo geograficheskogo obshchestva*, X, Saint-Petersburg.
- Rozhkova, M. K. 1949. *Ekonomicheskaia politika tsarskogo pravitel'stva na Sredнем Vostoke vo vtoroi chetverti XIX veka i russkaia burzhuazia*, Moscow: Izdatel'stvo Akademii nauk CCCR.
- Rozhkova, M. K. 1963. *Ekonomicheskie sviazi Rossii so Srednei Aziei: 40-60-e gody XIX veka*, Moscow: Izdatel'stvo Akademii nauk CCCR.

キーワード 隊商交易、ロシア帝国、畜産物、カザフ